



「DO YOU KYOTO?」ロゴマーク

月刊 あじenda 3月

みやこ
京のアジェンダ21フォーラム 事務局通信
月刊あじendaは当フォーラムの活動紹介を中心とした
京都発、環境関係の情報発信紙です



京のアジェンダ21フォーラム事務所

〒612-0031

京都市伏見区深草池ノ内町13

京エコロジーセンター2F 活動支援室内

TEL:075-647-3535

FAX:075-647-3536

E-mail:ma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp

開室時間:8時45分~17時30分(木・日休室)

アクセス:京阪電車「藤森」西へ徒歩5分

地下鉄・近鉄「竹田」東へ徒歩13分

市バス・京阪バス「青少年科学センター前」南へすぐ

幹 事 リ レ ー コ ラ ム

温室効果ガス大幅削減に向けて、フォーラムはどう取り組むか

フォーラムでは 2009 年度事業として、温室効果ガス大幅削減（京都市の環境モデル都市行動計画では 2030 年までに 90 年比 40%削減、2050 年までに 60%削減）実現に向けた「中長期展望の策定と、そのための具体的な方策の検討」プロジェクトを、フォーラム幹事の参加のもと実施しています。フォーラム設立 11 年目を迎えた今、社会の地球温暖化防止についての意識が高まり、各主体による取組も活発にされるようになってきています。国も 2050 年までに 90 年比で温室効果ガス 80%削減目標を打ち出しました。



このような社会の状況に合わせて、フォーラムのあり方、活動内容や方法も見直していく必要があります。

そこで、このような背景を踏まえて、プロジェクトにご参加いただいている幹事に、望ましい京都の未来像を目指すに当たってのフォーラムの今後の役割、あり方などについて、寄稿をお願いしました。第 4 回目は、田浦健朗フォーラム幹事です。

【イラスト：京のアジェンダ 21 フォーラム入会案内「京のアジェンダ 21 フォーラムが目指す京都!」より】

第 4 回 パートナーシップの強みを活かして、戦略的な活動を

京のアジェンダ 21 フォーラム 幹事 田浦健朗（気候ネットワーク）

■ 大幅削減に向けての課題

京都は、京都議定書採択のまちとして世界中から注目され、率先的な地球温暖化対策が期待されてきている。これまで様々な取組も実施され、国内の先進事例として取り上げられてきたものもある。その多くに京のアジェンダ 21 フォーラム(以下フォーラム)が関わってきた。パートナーシップ組織の先進事例としての評価も得てきている。

一方で、大幅な温室効果ガスの削減にあたっては課題も多い。これまでの温室効果ガス削減の行動は普及啓発にとどまっていることが多く、効果のある政策がほとんど導入されてきていなかった。また、削減のためには不可欠のエネルギーや都市構造に関する政策に関与することがなかったため、市民・地域の取組に限界があった。

この課題克服に向けて、京都市は「京都市地球温暖化対策条例」の見直しを行っている。今回の見直しでは、中長期目標とその方向性が明確になり、個別の政策・施策が具体的になってきている。また昨年公表された「低炭素都市京都へのロードマッ

プ」では、今ある技術を使って 2030 年に 30% 削減が可能であることを示している。しかし、この条例の目標・内容やロードマップと現状との違いはまだまだ大きい。この違いを埋めていくことが求められている。

フォーラムがこの違いを埋める役割を担うことができるはずである。フォーラムには、具体的な活動を実践するためのワーキンググループがあり、先進的な実践活動に取り組むことができる。また立場の異なる人・組織が参加しているからこそ、政策統合に向けての合意形成に取り組むことができる組織である。ところが、現在はこのワーキンググループがほぼ休止状態、幹事会は長期にわたって開催されていない。まず着手すべきことは、幹事会で実質的な議論を行い、ワーキンググループの再開と振り返りを行うべきである。状況に応じて廃止・再編も必要であると考えます。

■ 仕組みづくり、エビデンスづくり、人づくり

京都全体で大幅削減に向けて今後必要なことは、「仕組みづくり、エビデンスづくり、人づくり」など

が考えられる。まず、削減のための仕組みと効果のある政策の導入である。削減に寄与している人や企業、組織、あるいは削減のための手段はそれが報われ、そして排出には相応のコストが必要となる制度（ルール）が必要である。

大幅削減のためのビジョン・シナリオはできている。地域での削減の証拠（エビデンス）を積み重ねていくことも重要である。このエビデンスが広がることでビジョンの実現性が高まり、道筋も見えてくる。仕組みづくりやエビデンスづくりには多くの担い手が必要である。企業、教育機関、地域組織などにも一層多くの温暖化対策の担当が必要である。また、公共的な役割を担う自治体関係者、地域組織、パートナーシップ組織、NPO でも専門性のある担い手が必要である。この体制を整えることで人材育成に加え、地域の雇用も生まれ、京都の活性化にもつながる。

■ 今後に向けたフォーラムの役割

これらの中でフォーラムができることも多くある。京都市地球温暖化対策条例が策定される課程でフォーラムが協働提案をつくって提言した。フォーラムには政策導入や仕組みづくりに貢献できる専門家や関係者がいて、中立的な立場から意見交換ができ

る場も設定することができる。ワーキンググループはこれまでも地域のエビデンスをつくってきた。全国に波及してきた「おひさま発電所」の設置もフォーラムのパイロットプロジェクト支援があったから実現できた。家電製品の省エネの取り組みもフォーラムのネットワークがあったからこそ、ゼロからスタートするよりもスムーズに進んだ。既に、京エコロジーセンターには多くのエコメイト・エコサポーターが参加・協力している。フォーラムはこのセンターの中に事務所があり多くの人々とつながりもある。一層密接で具体的な連携も可能である。

国レベルでも地域レベルでも温暖化対策が次の段階に入っている中で、フォーラムが一步先を切り拓くことができるかどうか問われている。全てを担う必要はないと考える。これまでの蓄積とパートナーシップの強みを活かすと同時に新たな戦略に集中するべきかもしれない。まずは、これまでにつくってきた異なる立場の組織・人、専門性を有する人材のネットワークを維持し、その上で、具体的な活動等を展開しながら新たなネットワークの広がりにつなげていくことに取り組むべきであると考え。その後、「低炭素のまち京都」に向けて、フォーラムが多くの役割を担っていくようになることも期待される。

京都環境コミュニティ(KESC)プロジェクト 水源の森づくりチーム

植樹に向けて現地の下見を実施 ～次回、子どもたちが育てたどんぐりの苗木を森に～

2007年の花背での森林の現状を知るための人工林と自然林の見学会から始まった奥山保全の活動。山に関する知識を深め、実際に間伐や玉伐り作業をし、いよいよ3月6日に植樹の作業を実施します。

今回植樹する苗木の一部は、チームメンバーの事業所のある京都市内の地域の幼稚園へ苗木の育成をお願いしました。どんぐりを一年かけて園児達が大切に育ててくれて、30本程の苗木となりました。

2月8日の下見の日は市内でも気温が低く、現地では積雪が20センチ程。昨年度間伐作業した場所は林床に雪が積もっていましたが、間伐前はうっそうとした茂った場所であったのに、光の届く林床の状態が保たれ、間伐作業の成果が見られました。そこに、今回は園児の思いがこめられた苗木に防護柵をつけて植樹していきます。防護柵をつける目的は、この森に住む鹿などの動物を排除するためではなく、鹿などに苗木を食べられないようにするためです。そして、木が大きく成長し実を沢山つけると、動物のエサも豊富になり、安心して棲むことのできる豊かな森になります。広葉樹でできた豊かな山は、「緑のダム」としての役割も担っています。水源の森をつくるためのチームの活動は、今後大きな成果を生み出してくれることが期待されています。



Agenda Forum 3月の予定

家庭の省エネ相談所

3月16日(火) 南区役所
【10:00～14:00】

今年度最後の省エネ相談所です!



京都環境コミュニティ活動(KESC)プロジェクト

*水源の森づくりチーム 森林保全活動

3月6日(土) 京都市右京区

京のアジェンダ 21 フォーラム 2009 年度事業報告

今年度もフォーラムの事業にご参加、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。『月刊あじえんだ』3月号・4月号では、フォーラムが2009年度実施してきた事業の進捗状況をご報告いたします。

■ 長期展望の策定とその実現に向けた働きかけ

京都市の環境モデル都市行動計画の中長期目標（2030年までに90年比40%削減、2050年までに60%削減）実現に向けた「中長期展望の策定と、そのための具体的な方策の検討」プロジェクトを、フォーラム幹事の参加のもと実施し、2009年12月28日に開催された「京都市環境審議会 平成21年度第3回地球温暖化対策推進委員会」に提言書を提出しました。

■ 温室効果ガスの排出削減に効果のある重点取組の実施

① バスと電車で eco グルメ 集中キャンペーン実施

第一期（2009年8月1日～11月30日） 第二期（2010年1月5日～4月30日）

地球温暖化防止の為、市民や観光客の皆さんに、マイカーではなく公共交通を利用してもらい、また飲食店には環境配慮の取組をしていただくためのキャンペーンを実施しました。2007年度より始めた事業ですが、京都市交通局や阪急電鉄等の交通事業者、産業観光局等の広報協力のおかげで、少しずつ周知されるようになってきました。

❀ 2010年4月30日まで実施中！ バス、電車を使って春の京都観光をしてみませんか？ ❀

京都には世界遺産にも指定された素晴らしい、有名な観光地が沢山あります。キャンペーンのパンフレットの表紙に、これらの観光地を記載した路線図を掲載しています。京都に住んでいてもなかなか巡ることは少ないと思います。これを機に是非北から南、東から西へと美味しいものを見つけながらエコな京都観光をしていただきたいと思います。ぜひ皆様もお好きなお店や京都のスポットを探しに出かけられてはいかがでしょうか？ご利用いただいた皆様からのご意見もお待ちしています。

② 家庭の省エネルギー対策プロジェクト

今年度は、これまで「家庭の省エネ相談所」を区役所・支所にて14回、スーパーにて2回、商業施設・イベントにて4回、計20回開設し、465名の方に相談に来ていただきました。

また、「家庭の省エネアドバイザー養成研修会」を開催では23名の方が受講され、家庭の省エネアドバイザー登録者数は計87名となりました。

「家庭の省エネ相談所」の開設は、今年度、後一回となりました。次回は3月16日に南区役所にて10時から14時まで開設します。「家庭の省エネ相談所」は知っているけどまだ実際にやってみた事がない方は、ご家庭での省エネ促進のために、また、一度相談に訪れたことがある方も、前回の結果を元にCO2削減に向けて取り組まれた成果を再度チェックをしに来られてはいかがでしょうか？お待ちしております！

③ 京グリーン電力制度の運用

2009年10月、制度の更なる発展を目指し、運営主体をフォーラムから京グリーン電力運営協議会に移行しました。フォーラムでは、2年間の試行実施の課題を整理し、今後の制度の運営に生かしていくことを目的に、事業報告書を作成中です。詳細は次号にてお知らせさせていただきます。

■ 各地域に環境コミュニティを育てる取組

京都環境コミュニティ活動（KESC）プロジェクトの実施

- ・自然エネルギー環境学習チーム
- ・交通環境学習チーム
- ・市民共同おひさま発電所づくりチーム
- ・水源の森づくりチーム

KESC プロジェクトの各チームの活動報告は次号掲載予定です。
どうぞお楽しみに。

メルマガとウェブ活用で エコな情報発信をスタートします

『月刊あじえんだ』から『京えこめる』へ

毎月『月刊あじえんだ』をご購読いただきありがとうございます。これまで会員の皆様に「月刊あじえんだ」などを毎月お届けさせていただいていましたが、この度、フォーラムの広報体制を見直すこととなり、紙の使用量を削減し、メールやウェブを活用してエコに、より広く迅速にフォーラムの環境活動をPRしていくための広報を事務局で検討いたしました。

『月刊あじえんだ』は4月号をもって終了し、今後は、メールマガジン『京えこめる』をお届けいたします。メールアドレスをお持ちの皆様には、今回の新たな試みにご理解、ご協力の程お願いいたします。『京えこめる』では、これまでお知らせできなかった各活動の会議などもご案内するなど、タイムリーな情報提供していきたいと考えています。

それに伴い、メールマガジンをお届けできるように皆様のメールアドレスを登録させていただき、発信の準備をしていきます。ご面倒をおかけしますが、皆様のメールアドレスを事務局へお知らせくださいますようお願いをお願いいたします。(携帯メールはご利用いただけません。)

*ご入会の際に登録いただいている方には、『京えこめる』準備号を3月15日までにお届けします。届いた方は事務局への連絡は不要です。

*メールアドレスをお持ちでない方は、事務局までご連絡ください。『京えこめる』と同じ内容を印刷してお手元にお届けします。

■ メールマガジン発行にむけてご協力をお願いいたします



■ 機関誌発行の予定

『月刊あじえんだ』の発行は終了しますが、年に数回の機関誌の発行を予定しています。機関誌は、会員の皆さまに送付するとともに、市内各所でのフォーラムの情報発信のために活用していきたいと考えています。

■ イベント案内などの情報発信をご希望の団体会員の皆さまへ

これまで「月刊あじえんだ」発送時にイベント案内などを同封させていただいていましたが、今後はメールマガジンにて、ご案内させていただきます。これまで通りご連絡いただきますようお願いいたします。なお、ご連絡いただく際の詳細については、「月刊あじえんだ 4月号」にてご案内いたします。よろしくお願いいたします。

連絡・問い合わせ先：フォーラム事務所 (1 ページ 右肩面参照)

広報の取組について、ご不明な点、ご意見等ございましたら、フォーラム事務所までご連絡ください。

- ・メールアドレス (未登録の方のみ) : ma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp までお知らせください。
- ・送付希望 : 電話または FAX でご連絡ください。

事務局短信

フォーラムがこれまで取り組んできた活動に、自転車の利用促進やまちかど駐輪場のモデル提案などがありました。昨年御池通を中心に駐輪場が設置されてきました。市内各所にも駐輪場が増えてきました。そろそろ我が家の古い自転車も、手入れをして買い物や散策に自転車で出かけてみようと思います。(西本雅則) / まだまだ寒い日が続きますが、徐々に日が長くなり、新聞で梅だよりや花粉情報を見ると、春が少しずつ近づいて来ていることを感じます。季節が良くなれば久しぶりに旅行にでも行ってリフレッシュしたいと思っています。(小山直美) / 先日、我が家にアメリカからの留学生が来ていました。留学生を迎える度に、京都の良さを伝えようと思いつきながら上手に伝える事ができません。京都の事を知っているつもりで実は京都の神社仏閣も訪れた事がないからなのです。これを機にタイムリーな「バスと電車でecoグルメ」を使い、京都の有名箇所と美味しいものを見つけてこようと思っています。(奥井祐子) / 紙のリサイクルといえば、新聞紙、広告チラシ、ダンボールがあげられますが、つい握りつぶしてゴミ箱にポイする紙くず、これが意外に多いのに驚きます。今、この「紙くず」にこだわって紙の部分は全てはがして残すようにしていますが、これって結構楽しく今後ますますこだわって行きそうです。(小西賢人)